

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	GLP千葉北プロジェクト	階数	地上3F
建設地	千葉市花見川区三角町762番地14第	構造	S造
用途地域	指定無	平均居住人員	122 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年2月 予定	評価の実施日	2022年12月6日
敷地面積	13,703 m <sup>2</sup>	作成者	渡邊一盛
建築面積	7,960 m <sup>2</sup>	確認日	2022年12月6日
延床面積	23,795 m <sup>2</sup>	確認者	戸島忠幸



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.7**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

**標準計算**

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q1 室内環境

Q3 室外環境 (敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.8

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

##### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.7

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.4

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> ・断熱性の高い材料の採用と高効率な設備機器の導入、節水器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。		
<b>Q1 室内環境</b> ・ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建材を使用し、室内の良好な空気質環境の確保を図っている。	<b>Q2 サービス性能</b> ・将来の用途変更の可能性等を考慮し、建物の階高、空間の形状・自由さのゆとりを計画している。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b>
<b>LR1 エネルギー</b> ・高効率な設備機器を採用し、エネルギーの効率的利用に配慮している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・主要水栓は節水器具とし、節水便器を使用する等水資源の保護に配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・燃焼設備を設けず、建物からの大気汚染物質発生に配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される